

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年1月12日

協議会名:	新城市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>新城市は、新城市、鳳来町、作手村の新設合併によって平成17年10月1日に誕生した。愛知県東部に位置し、面積は499km²、人口は48,029人(平成28年12月1日現在)である。市では、住民にとって利便性が高く、かつ効率的な運行の構築を目的として、平成20年2月に「地域公共交通総合連携計画」を策定した。</p> <p>これに基づき、平成20年度から22年度に地域公共交通活性化・再生総合事業を実施し、この一環として、西部線、塩瀬線、つくであしがる線の実証運行を開始した。平成23年からは本格運行に移行し、学生の通学や高齢者の移動手段の確保を考慮したルート変更を随時行っている。</p> <p>今後も高齢者の通院、買い物や学生の通学手段として、公共交通は不可欠であるため、路線ごとの課題なども協議しつつ、よりよい公共交通の実現を図っていきたい。</p>